

# 令和3年 新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より市政各般に格別のご支援、ご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。特に昨年は、市長選挙が行われ、6月8日より市長に就任させていただきました。就任当初の気持ちを忘れることなく、市政運営に努めていく覚悟であります。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れる一年でありました。最初の症例が中国で確認されてから瞬く間に世界中に拡がり、多くの国で感染防止対策のため、外出禁止、渡航制限が敷かれるなど、人や物の交流が停滞しました。国内でも、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の1年延期、4月に発令された緊急事態宣言、第2波、第3波の到来等により、経済活動をはじめ、私たちの社会生活を一変させるような大きなダメージを与えました。本市におきましても、港まつりをはじめとする各種イベントの中止や、様々な事業の中止を余儀なくされました。また、市内でも感染者が確認されるなど、新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する可能性があります。感染されました方におかれましては、お見舞い申し上げますとともに、市民の皆様におかれましては、気を緩めることなく、引き続き、感染症対策に努めていただきますようお願い申し上げます。

しかしながら、私たちは「新しい生活様式」を実践して前へと進んでいかなければなりません。新型コロナウイルス感染症のワクチン開発も急ピッチで進められており、昨年末には、国外ではありますが、接種が開始される等の明るい兆しも見えてまいりました。

さて、市政運営におきましては、小松島市は本年6月1日、市制施行70周年を迎えます。これまで先達が築いてきた歴史を重んじ、さらなる発展を遂げるために、市民の皆様と協働して、令和の時代にふさわしい市政運営に取り組みます。昨年3月に策定した2060年の目標人口を掲げた「小松島市人口ビジョン」の実現に向け、「地方創生」による将来の人口減少社会に対応可能な効率的、かつ戦略的なまちづくりを創生し、その取組計画である「第2期小松島市・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進してまいります。誰もが活躍できる「しごと」をつくり、関係人口・交流人口の創出という新しい「ひと」の流れをつくり、安心して暮らすことのできる「まち」をつくる。この計画に沿って「持続可能な小松島」の実現をめざしてまいります。

このコロナ禍に対する危機意識をもって行政としての役割を果たし、感染拡大防止策と地域経済の活性化の両立を図ることで、この難局を乗り切ってまいりますので、今後とも、変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和3年1月1日 小松島市長 中山 俊雄